

自主防災組織等の地域防災の人材育成に関する検討会について

地域防災室

1 はじめに

平成30年8月から、令和2年3月まで、8回にわたり「自主防災組織等の地域防災の人材育成に関する検討会」（座長：室崎益輝 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長）を開催し、自主防災組織のリーダー等の育成に資する教育訓練のカリキュラム等の作成について、検討を行い報告書を取りまとめました。報告書（全文）は当庁ホームページに掲載しています。

[\(https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/2019/\)](https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/2019/)

2 検討会開催に至った背景

平成25年度に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を踏まえ、平成28年度に自主防災組織等の活動の活性化を図るための支援方策について検討することを目的に、有識者からなる検討会が設置されました。この検討会報告書において、国は、自主防災組織のリーダー等のニーズに対応した標準的な教育訓練のカリキュラムや教材を作成するとともに、その普及を進めるべきであるとされました。

それを受けて、平成30年8月から、8回にわたり検討会を開催してきました。

3 検討会の概要

検討会の概要は資料1～4のとおりです。

4 研修教材等の活用

令和2年4月10日に、地方公共団体に報告書等の送付について周知するとともに、本報告書の「教育・訓練カリキュラム」や「研修プログラム例」、「研修教材」の全部又は一部を活用していただくことや、地域の実情に応じて、拡充、追加等を施した研修用教材等へと、より発展させることなどを通じて、自主防災組織等に対する

一層の支援を依頼したところです。

また、当庁では今年度、「教育・訓練カリキュラム」、「研修プログラム例」及び「研修教材」を有効に活用していくための研修会を、地方公共団体の自主防災組織等の担当者向けに実施する予定です。併せて、この研修会を受講した地方公共団体の担当者や自主防災組織のリーダー等（アドバイザー）が自主防災組織の構成員等向けに実施する研修会に講師を派遣するなどの支援をし、その成果を全国に周知する予定です。

研修教材等を活用した取組みを通じて、市区町村の職員だけでなく、消防職員、消防団員、地域の防災リーダー等、多様な方々の講師としてのスキルアップが図られ、また、講師を担える方が地域に多数育つことにより、自主防災組織等の活動が活性化し、地域防災力の充実強化に繋がることを期待しています。



研修教材を活用した研修会の様子
(令和2年2月3日 函館市)





自主防災組織等の地域防災の人材育成に関する検討会（概要）

資料1

検討の背景・目的等

自主防災組織等の活動の中心となるリーダー等の担い手不足など、自主防災組織等が抱える課題を克服し、活動の活性化を図るため、自主防災組織等のリーダー等に対するカリキュラム・教材の作成など、人材育成の方策を検討することを目的として、平成30年8月、防災に関する学者経験者等を委員とした検討会を設置し、地方公共団体が行う自主防災組織等の人材育成を支援するための実務的な検討を進めてきた。

検討事項

自主防災組織等のリーダー等に対する標準的な教育・訓練のカリキュラム等に関すること

委員

（敬称略）	
座長	室崎 益輝（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長）
委員	吉川 肇子（慶應義塾大学商学部教授）
	黒田 洋司（一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員）
	阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授）
	永田 宏和（特定非営利活動法人プラス・アーツ理事長）
	西藤 公司（一般財団法人日本防火・防災協会理事長）
	宗片恵美子（特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事）

検討経過

○平成30年度		○令和元年度	
第1回	平成30年8月20日	第5回	令和元年8月7日
第2回	平成30年12月14日	第6回	令和元年11月11日
第3回	平成31年1月31日	第7回	令和元年12月9日
第4回	平成31年3月28日	第8回	令和2年3月19日

自主防災組織等の地域防災の人材育成に関する検討会報告書（概要）

資料2

自主防災組織のリーダー育成のための教育・訓練カリキュラム

- ・自主防災組織の育成に携わる担当者が、主に結成しはじめの組織や長期間活動していないような組織に対して、自主防災組織のリーダーを育成するために活用することを念頭に置いて作成。
- ・自主防災組織の活動をする上で、学習することが望まれる項目を網羅的に記載するとともに、学習項目の体系等を一覧的に理解できるよう、「カリキュラムの全体像」を記載。
- ・学習項目ごとに「学習項目の概要」、「学習のねらい」、「学習内容（メニュー）例」を区分けして記載。

研修プログラム例

- ・上記の「教育・訓練カリキュラム」の中から、研修プログラムを企画する際の参考として「研修プログラム例」を作成。
- ・結成しはじめの段階及び長期にわたり活動が行われていない組織を念頭に、
 - 「1. 防災リーダーの役割／住民（構成員）の自助意識を高めるには」
 - 「2. 災害から住民の命を守るには」
 - 「3. 避難所の運営を円滑に進めるには」
 の3つのテーマを設定し、それぞれ半日程度の研修会を想定して作成。

研修教材

- ・上記の「研修プログラム例」に基づいた研修会を想定した「研修教材」を作成。
- ・座学だけではなく、ワークショップも多く採用。
- ・研修講師が、自主防災組織の活動状況や地域の状況等に応じて「研修教材」の内容を作り変えてもらうことを想定。

